

授業科目(ナンバリング)	国際栄養論 (IA307) International Nutrition			担当教員	今村 裕行		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
世界には様々な食文化を有する国、民族が存在する。それらの食文化を理解するためには歴史や文化に対して多くの知識が必要である。本講義のねらいは、開発途上国及び先進国における栄養学上の課題と取り組み、諸外国の文化的背景と食生活との関連について学ぶことである。							② ⑥ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	開発途上国及び先進国における栄養学上の課題と取り組みについて考察することによって、地球レベルでの栄養の課題と取り組みについて総合的に考えることができる。				・小テスト	20%	
情報収集、分析力	各国の文化的背景と食生活に関連した情報を収集することによって、人の健康について総合的に分析することができる。				・グループディスカッション及びグループ発表	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループディスカッションを通して、解決すべき課題を導き出すことができる。				・グループディスカッション及びグループ発表	10%	
多様性理解力	国際的な視点で高い問題意識を持ち、各国の栄養学上の課題と取り組みについて理解できる。				・定期試験	50%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績は50%とし、800字程度の小論文で評価する。 ・小テストの成績は20%とし、第8回目に30分程度の小論文で評価する。 ・グループディスカッション及びグループ発表の成績は30%とし、課題に沿ってグループごとに発表を行う（講義内で指示）。グループ全員が分担して発表することによって、的確に発表できているか、および論理性や理解度を評価する。 ・グループ発表のフィードバックは授業中に行う。 							
授 業 の 概 要							
<ul style="list-style-type: none"> ・開発途上国および先進国における栄養学上の課題と取り組みについて教科書、パワーポイントを使用して講義を行う。 ・小グループでのグループディスカッション及びグループ発表などで、学生が自ら考えるようにする。 ・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。 							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：「食料の世界地図 第2版」丸善株式会社 参考書：「世界を見る目が変わる50の事実」草思社 指定図書：「食料の世界地図 第2版」丸善株式会社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・各授業の最後に次回の授業範囲を伝えるので、教科書をよく読み、専門用語の意味を理解しておくこと。 ・課題に沿ったグループディスカッション及びグループ発表を行うので、指示された内容についてよく調べておくこと。 ・遅刻3回は欠席1回、欠席6回で再履修となる。また、特別な事情を除き無許可での途中退席は不可とする。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス	受講生に望むことや受講上の注意点、評価方法などについて説明し、国際栄養論について概説する。	学んだことを復習する。教科書 Part 1 「1 進行中の問題」を読んでおく。
2	進行中の問題	各国の食料価格が上昇する理由。	「進行中の問題」を復習し、教科書 Part 1 「2 世界の食料供給」を読んでおく。
3	世界の食料供給	諸外国の健康・栄養・食料問題における現状と課題。	「世界の食料供給」を復習し、教科書 Part 1 「3 不均等な分配」を読んでおく。
4	不均等な分配	開発途上国における慢性的な栄養不足や食料不足の原因と背景。	「不均等な分配」を復習し、教科書 Part 1 「4 環境に対する挑戦」を読んでおく。
5	環境に対する挑戦	森林破壊や熱帯雨林の減少と土壌の劣化。	「環境に対する挑戦」を復習し、教科書 Part 1 「5 水不足問題」を読んでおく。
6	水不足問題	多くの国々における淡水の不足。	「水不足問題」を復習し、教科書 Part 1 「6 栄養不足」を読んでおく。
7	栄養不足	開発途上国における栄養不足と疾病との関係。	「栄養不足」を復習し、教科書 Part 1 「7 栄養過剰」を読んでおく。
8	栄養過剰	30 分程度の小テストを実施。先進国における栄養過剰と疾病との関係。	「栄養過剰」を復習し、教科書 Part 1 「8 汚染」を読んでおく。
9	汚染	汚染された水や食料に起因する病気。	「汚染」を復習し、教科書 Part 2 「15 農薬」を読んでおく。
10	農薬	農薬と健康との関係。	「農薬」を復習し、教科書 Part 4 「30 主食」「31 食習慣の変化」を読んでおく。
11	主食と食習慣の変化	各国で食べられている主食と、食習慣の変化。	「主食と食習慣の変化」を復習し、教科書 Part 2 「20 漁獲漁業と養殖漁業」を読んでおく。
12	漁獲漁業と養殖漁業	世界の魚の消費量、天然魚と養殖魚。	「漁獲漁業と養殖漁業」を復習し、教科書 Part 2 「21 農業における生物多様性」を読んでおく。
13	農業における生物多様性	食料用の動植物、土壌の微生物、作物の受粉媒介者、害虫の捕食者。	「農業における生物多様性」を復習し、グループディスカッションの課題を調べておく。
14	グループディスカッション	少人数による与えられた課題のグループディスカッションとグループ発表の準備。	グループ発表の準備をしておく。
15	グループ発表	少人数によるグループ発表と総まとめ。	開発途上国及び先進国における栄養学上の課題と取り組みについて総まとめと復習をしておく。
16	定期試験		

注) テーマは変更することがある